

# 市議会だより



下恵土公民館で行われた新年書き初め大会

12月定例会の審議の結果 .....	2 ページ
常任委員会審査報告.....	3 ページ
一般質問の要旨.....	4 ~ 11ページ
議会傍聴者の声.....	12ページ
3月定例会の予定.....	12ページ

## ●●●平成13年度決算を認定●●●

	歳入決算額	歳出決算額	審議結果	
一 般 会 計	301億0,410万6,555円	288億8,982万2,596円	賛成多数	
特 別 会 計	国保事業勘定	52億3,458万5,034円	50億3,701万2,820円	賛成多数
	国保直診勘定	2,038万5,788円	1,940万9,390円	賛成多数
	老人保健会計	52億7,457万3,074円	52億7,251万2,558円	賛成多数
	介護保険会計	20億1,656万4,358円	20億1,649万7,388円	賛成多数
	簡易水道事業会計	8,880万5,858円	2,934万0,117円	全会一致
	飲料水供給事業会計	278万8,623円	269万4,578円	全会一致
	自家用工業用水道事業会計	1億4,676万9,534円	1億4,489万0,675円	全会一致
	公共下水道事業会計	38億4,678万3,224円	36億2,379万4,533円	賛成多数
	特定環境保全公共下水道事業会計	4億1,330万3,337円	4億1,053万2,192円	賛成多数
	農業集落排水事業会計	1億9,567万1,624円	1億9,428万1,879円	賛成多数
	可児駅東土地区画整理事業会計	3億8,973万8,691円	3億5,122万9,965円	全会一致
	5財産区会計(合計)	2,353万7,420円	1,882万7,800円	全会一致

平成14年第7回可児市議会定例会が12月3日から25日までの23日間の会期で開かれました。  
この定例会では、平成13年度一般会計の決算認定や、可児市職員の給与支給に関する条例等の一部改正など31議案が原案のとおり可決されました。

### 予 算

平成14年度可児市一般会計補正予算(第3号)について

(賛成多数)

8800万円を追加し、総額が250億3600万円となりました。その主な内容は、可児市郡合併検討協議会負担金、帷子児童センターの営繕工事費、市道27号線改良に伴う家屋の移転補償費などです。

平成14年度可児市介護保険特別会計補正予算(第2号)について

(全会一致)

平成14年度可児市水道事業会計補正予算(第2号)について

(全会一致)

### 条 例

可児市部設置条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致)

可児市職員の給与支給に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数)

可児市税条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致)

住所の表示変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

(全会一致)

可児市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数)

可児市法定外公共物(里道、水路等)管理条例の制定について

(全会一致)

可児市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数)

可児市水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について

(全会一致)

### そ の 他

財産の取得について

(全会一致)

字の区域変更について

(全会一致)

市道路線の廃止について

(全会一致)

市道路線の認定について

(全会一致)

可児市郡合併検討特別委員会の設置について

(賛成多数)

### 請 願

可児市・御嵩町・兼山町の市町村合併の推進についての請願書

(賛成多数採択)

30人学級の実現を求める請願

(賛成少数不採択)

永住外国人の地方参政権確立のための意見書採択を求める請願書

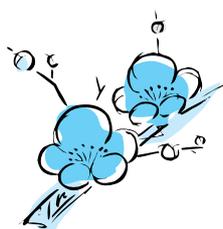
(全会一致採択)

### 意 見 書

次の意見書を可決して、関係機関に送付しました。

学級編成の弾力化に関する意見書

永住外国人の地方参政権確立のための意見書



# 12月定例会

## 常任委員会の 審査 委員長報告から

### 総務企画委員会

平成13年度可児市一般会計歳入歳出決算認定について

**質疑** コミュニティバスは、運行収入より補助金の方が多し計算になるが、利用者が増えれば市の負担が安くなるといったPRに努めてはどうか。

**答弁** 運行開始当初に比べ、運行バスルートの見直しなどにより、乗車人数は増えている。さらに、利用が増えるようなPRをしていきたい。

**可児市税条例の一部を改正する条例の制定について**  
**質疑** 前納報奨金の廃止に対する対応は、どう考えているのか。

**答弁** 今回の見直しの最大の観点を、不公平の是正に置いており、収納率の低下

に対しては、対応を検討中である。

永住外国人の地方参政権確立のための意見書採択を求める請願書について

委員の意見  
(賛成多数採択)

・全国の70パーセントを超える市が採択しているという数字からも、参政権を認めるのが全国的な流れである。共存共栄を図って地域の発展に寄与していただければよいのではないかと、国際情勢の難しい中でもあり、同一民族の中で意見が分かれていたりもする。一方の意見だけを認めることなくしばらく様子を見てはどうか。

### 経済福祉委員会

平成13年度可児市一般会計歳入歳出決算認定について

**質疑** ため池整備事業の分担金の割合は、今後どのように決めていくのか。

**答弁** 農地の改廃により、ため池に対する受益者の減少や、農業以外のため池の機能なども考慮し、また、

他市の状況も参考にしながら見直していきたい。

**質疑** 少子化、高齢化あるいは、経済の低迷により福祉の助成費、扶助費などが増えている中、予算の適正配分をどう考えているのか。

**答弁** 予算の割合の中で増加していくことは確実であり、見直しをすべきところは見直し、最大限努力をしていきたい。

### 文教委員会

平成13年度可児市一般会計歳入歳出決算認定について

**質疑** 給食センター一般経費のうち、調理機器取り換え及び備品購入について、給食センターの建て替え計画があるが、新しい施設でも対応できるものなのか。

**答弁** 給食センターが建設されてから22年がたち、当初から使用している機器などもあり、改修できないほど老朽化したものについてのみ買い替えている。新しい施設の調理方法は、現在のウェット方式からドライ

方式に替わるため、それらに対応した買い替えもしている。

30人学級の実現を求める請願書について

委員の意見  
(賛成少数不採択)

・クリアすべき課題が多々あることは承知しているが、全国的な流れではないか。

・30人という少人数で固定せず、必要に応じて人数を弾力的に扱える方が良いのではないかと。

・30人と限定した請願については、現状の場合、不採択にせざるを得ないが、絶対に30人でなければ駄目という趣旨ではないと考えるため、少人数学級を促進する意見書を、教員の採用権がある岐阜県に対して提出してはどうか。

### 建設水道委員会

平成13年度可児市一般会計歳入歳出決算認定について

**質疑** 可児駅東土地地区画整理事業の公益施設用地とは、どういったものを予定して

いるのか。

**答弁** 平成20年以降に詳細検討が予定されている駅前の拠点施設用地、可児川沿いの駐車場用地、及び駅南における駐輪場用地を整備したい。

**質疑** 都市計画基本図のデジタル化に着手したことにより、今後はどうなるのか。

**答弁** 今までは、規定の縮尺でデータ別の地図を作成していたものが、デジタル化されることによって、縮尺の調整が自由になり、基になる地図に防災関係や福祉関係など様々なデータを付加できるため、全庁的な対応が可能となる。



文教委員会審査の様子

# 一般質問

三期目の山田市長の市政運営を伺う

芦田 功あしだ いさお

公約の実現と市政の伸展に全力を尽くす

山田市長

15年度の実施に向けて  
取り組む

浅野健康福祉部長

**問**

山田市長は、先の市長選挙において「安全で安心して暮らせる元気なまちづくり」を公約し、三選を果たされた。そこで三期目の市政運営についての抱負と、平成15年度予算編成に向けて市長公約をどのように反映されるのかを伺う。

**答**

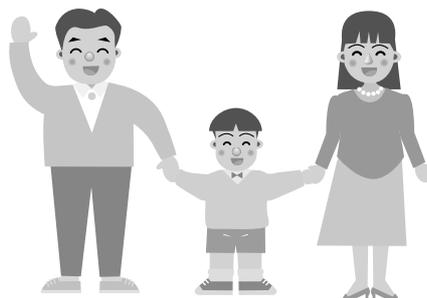
市民の皆様のニーズを的確に把握しながら行政の質の向上を図る事が重要である。行財政改革を一層推進し、行政全般のスリム化に努め常に費用対効果を意識しながら、従来の枠を超えた総合的な地域福祉施策の推進を重要な課題と考え全力で取り組む。

**問**

子育て期の若い夫婦にとっては、経済的な負担の軽減を支援することが必要である。子育て支援策として、早い時期に外来を含めた義務教育就学前までの医療費について無料化の実施を要望する。

**答**

乳幼児医療助成制度については、少子化が進展する今日、有効な子育て支援策であると考え、就学前までの拡大のために市が実質必要となる経費は約4200万円になるが、今後可見医師会との調整を図りながら、平成15年度からの実施に向けて前向きに検討していく。



少人数学級での授業風景（仙台市）

整備手法の選択肢を提供できる能力を  
いろいろな提案を行い協議している

小川 富貴おがわ ふうき

澤野水道部長

**問**

公共下水道は、行政の持続を盾に事業を推進する時代から、見直しを進める時代が変わった。市民が自ら選択できる基盤整備や調整、情報提供、権利擁護などの行政能力が、今の課題である。今後、市民にどれ程の選択肢が提供できるのか。

**答**

現行の団地では、2年程協議を続けていく。協議の場は土・日あたりに設定し、職員が出て、全住民の出席をいただき進めている。今後、いろいろな提案を行い、また、住民から提案をいただくという形で事業の展開を図っていききたい。

**問**

学びを保障する少人数学級の実現を  
ゆとり教育による学力低下を補完する少人数学級が、地方分権で既に各市で行われている。校舎が整わない、先生の確保が難しい、というできない理由探しでなく、実現させることに傾注してほしい。

**答**

公教育の財政措置は国・県の責任  
井戸教育長  
市が独自に教員を採用している例もあるが、これではますます市が財政上の責務を負うことになり、公教育費削減の流れに拍車がかかるのではないかと危惧している。  
引き続き県の方針で示されている方向で進めていく。

## 市の経済活性化は

### 研究を進めている

すみ 角 眞一郎

古田環境経済部長

#### 問

景気は相変わらず超低空飛行を続け、市の財政も年々厳しくなる。

市の経済の活性化を進めることが重要と考え、可児市内で消費しようという「買い可児運動」を以前に提案したが、その実施は。また、来年度の予算にどのような配慮がなされるか。

#### 答

「買い可児運動」の一環として、「パワフル夏の元氣市」及び「冬の元氣市」を商工会議所と連携して行ってきた。

地域活性化セミナーの開催を予定しているほか、融資対策や中小企業の経営・技術基盤強化の支援策などの研究を進めている。

#### 問

可児川沿いを散策路などに整備を

環境に優しいまちづくり実現のために、「歩行者自転車回遊空間ネットワーク」及び「緑の回廊計画」の基幹部分として、可児川沿いを散策路やサイクリングロードとして整備することを提案する。

#### 答

今までの車中心の道路整備から、今後は、人の移動も視野に入れた整備が必要になると考えて、歩行者ネットワーク構築事業を検討している。

可児川沿道の整備は、市全域をとらえた構想の中で対処し、流域の公園化については、緑の基本計画の策定において検討していく。

市全域の構想の中で対処

水野建設部長



可児川と鬼が島

## スポーツ・文化クラブについて

### 部活は選択加入制の方向に進める

なかむら 悟

武藤教育部長

#### 問

スポーツ・文化クラブを既存の団体の組織として立ち上げてほしい。事務局を設置し目に見える形で進めてほしい。中学校部活の選択加入制と、土・日を地域指導者に任せることを早期実現に向け検討してほしい。

#### 答

クラブの組織については、まず設立準備委員会を組織しその中で検討していく。事務局はモデル地区を指定して順次設置していく。部活の選択加入についてはその方向に進める。土・日を地域指導者に任せることは、理解を深めた上で実施していく。

#### 問

児童センターの設置を  
広見児童センターは、広見と下恵土の境にあり位置的に中途半端であり、アクセス道路も狭いなど不便である。また、幼児を育てる母親への教育、育児支援の拠点として数を増やすべきと思う。

#### 答

他の公共施設と併設で整備が必要  
浅野健康福祉部長

福祉センター、ゆとりピアについては利用が増加しており、転用の余裕はない。新たな施設整備に当たっては、他の公共施設と併設する形での整備が必要である。広見児童センターは旧鹵検定所の跡地利用を含め検討する。子育て相談は毎週木曜日に相談員が相談を承っている。



元気に野球をする少年たち

## 一般質問

# 一般質問

くらしを応援するきめ細かな市政を

生活に密着したインフラ整備が課題

伊藤 健二

山田市長

**問** 医療・失業対策など社会保障を削り、くらしと営業を壊す国の悪政が続いている。緊急の雇用対策、仕事おこし、商工資金対策、長期失業世帯への生活保障が必要。市長は「多様な市民ニーズにきめ細かに対応」と言うが、くらしを応援する施策はなにか。

**答** 市民福祉の向上のため、すこしでも不安を和らげ、明日への活力につながる、地域で可能な福祉施策、経済振興施策の推進は特に必要だ。国の制度的な課題では、市民生活の安定を最優先に擁護する。

**問** 土田地域西部に公衆トイレの設置を

**答** カタクリの群生地への駐車場の建設で、計画にはトイレの設置がない。ここには登山口があり、里山散策路の維持管理からも公衆トイレは必要だ。ミニ公園などの公共的土地に併設する方式も含め検討を。

**問** 観光・環境保全の視点で設置を検討  
古田環境経済部長

**答** 観光・環境保全の視点からも、この地域に安全・安心に利用できる公衆トイレの設置を考えている。県道との関連では、必要性を勘案しながら検討していく。

.....

.....



誰もが利用できる公園のトイレ



市役所ロビーで行われた模擬電子投票の様子

電子投票の公平性は確保できるのか  
公平なシステムとなるよう検討

伊佐治 昭男

長瀬総務部長

**問** 電子投票を15年の市議選に導入するよう検討されているが、真に公平なシステムが構築できるのか。

**答** 15年の市議選に導入するよう検討している。機器の操作の容易性と公平なシステムの構築は最も重要だと思う。

**問** 亜炭廃坑の危険性についての認識は

**答** 東海環状自動車道が走り、まちづくり運動が進められている広見東部は、地下に廃坑をもつ特殊な地帯である。この廃坑が、まちづくりや東海地震が発生した場合に、どんな影響があると考えられるのか。

**答** 可児市東部から御高町にかけて廃坑があるのは認識している。地震の被害は地盤に問題があるほど大きいと思われる。

3回の模擬投票が実施されたが、そこからどんな問題点が浮かび上がり、どのような検討をしているのか。

3回の模擬投票の結果、一画面に一括表示する方法を中心に、画面の大きさ、レイアウト等、改良、検討する余地も十分あると思う。

御高町が調査された結果も提供いただきながら、市としてできる事を考え、東部地域の防災計画にも反映させていきたい。

## 中恵土広見線完成後の規制は

### 看板表示等で進入を控えるようにする

大雅清光

水野建設部長

#### 問

現在の市道118号線の状況は、道幅が狭いうえ車両も多く、抜け道としてよく利用されている。

中恵土広見線完成後の市道118号線の交通規制は、どうするのか。

#### 答

中恵土広見線の完成後の市道118号線への交通規制については、地域の利便性を考え可児警察署とも協議し、地元議員、自治会を中心として調整を進めていく。  
なお、市道118号線への進入を看板表示にて控えるようにする。

#### 問

元蘭検定所跡地利用の将来展望は  
中心市街地の活性化の中で、元蘭検定所の跡地利用については、村木児童公園、及び広見児童センターを含めて将来的展望はどうなのか。  
また、県との話はできているのか。

#### 答

元蘭検定所の跡地は、中心市街地活性化を構想する中で、隣接する児童センターなどの公共施設、及び進入路の確保などの周辺整備を含めた土地利用について、さらに今後検討を進めたい。  
なお、跡地利用については、県と具体的な交渉を早急に進めたい。

周辺整備等の土地利用を検討する  
山口助役

## 施工中の市道幹線道路の整備状況は

### 用地取得等進め、早急に改良したい

柘植定

水野建設部長

#### 問

産業経済の発展、観光開発、教育福祉の向上などあらゆる面で道路整備は欠かせない。

市内の交通混雑、特に国道とのアクセス道路の交通緩和を図る必要がある。  
現在の進捗状況と今後の計画的な市道幹線道路の整備の見通しはどうか。

#### 答

市道27号線は、田白交差点から桜ヶ丘へ通じる道路で、平成13年度に事業着手し、19年度の完成を目指している。  
そのほかの幹線道路についても早急に改良したい。  
中でも、中恵土広見線については、15年3月に供用開始を予定している。

#### 問

市道改良一般事業の計画的な推進は  
昨年度において、各自治会より提出された道路改良の要望件数は、140か所ある。  
一般の生活道路の整備改良こそ住民の願いである。  
予算の効率的な配分による事業の早期促進を。

#### 答

現行の土木予算の中では、自治会要望に十分に配慮することが難しい。  
限られた予算を有効に用いるため、優先度を点数化する試みに取り組んでいる。  
道路の幅員、形態、利用度、沿線家屋数、用地協力の有無等々、整備順位を決定し、計画的に進めたい。  
ご理解ご協力を賜りたい。

整備順位を決定し計画的に進める  
水野建設部長



待たれる市の交通混雑の解消

# 一般質問

# 一般質問

## 米の生産調整の具体的な方策は

### 集約営農と産地作りを推進する

古田環境経済部長

可児教和

**問** 食糧庁は、より効率的で実効性のある取り組みとして米作りのあるべき姿を実現するため、新しい米需要システムの中で過剰米処理をどのようにするかは極めて重要な課題としている。

米改革の具体策をどのように考えているのか。

**答** 国による米生産調整の配分を廃止し、農業者、生産者団体が主となった生産調整制度に遅くとも2008年度までに転換を実施する。また、転作ほ場の集約による団地化の推進により、大豆・麦・特例作物の作付けの一層の推進と遊休農地の解消に努める。

**問** ため池改修に係る受益者負担の軽減を

**答** ため池は、田畑の火災時など多面的に利用される。ため池の老朽化が進み、改修を余儀なくされているが、改修に係る受益者負担の軽減を図る事はできないのか。

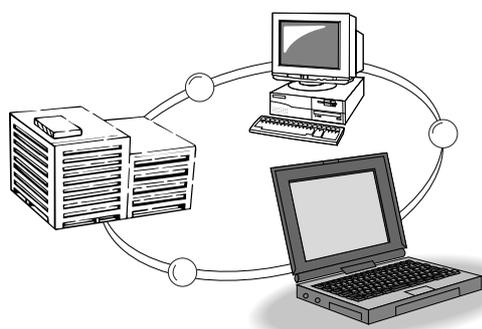
受益者負担の賦課基準の見直しを図る  
古田環境経済部長

**答** 最近では、地域の緑、水辺空間、動植物の住み家としての多面的機能にも期待が高まっている。

市内には、163か所のため池があるが、老朽化が進んだ施設もあり、改修が進んでいないのが実情だ。ため池など農業施設に対する受益者負担の賦課基準の見直しを図りたい。



農業用以外の機能も期待されるため池



## 電子投票を実施するのか 幅広い議論の中で検討

長瀬総務部長

村上孝志

**問** 有権者の明確な意思の反映による疑問票の減少、開票事務など効率化・迅速化が図れるが、まだ必要な法律の改正が行なわれず、公平な表示方法、投票方法がまだ定着していない現況で、15年の市議会議員選挙に先行的に実施する必要はないと思うが。

有権者の明確な意思の反映による疑問票の減少、開票事務など効率化・迅速化が図れるが、まだ必要な法律の改正が行なわれず、公平な表示方法、投票方法がまだ定着していない現況で、15年の市議会議員選挙に先行的に実施する必要はないと思うが。

**答** 15年の市議会議員選挙導入に向け機種の種類や表示方法など、種々の問題もあるが検討中である。導入には条例や予算が必要になり15年3月議会に提案できるよつでできる限りの検討を続ける。議会の意向を無視して強引に進めるといふ考えはない。

15年の市議会議員選挙導入に向け機種の種類や表示方法など、種々の問題もあるが検討中である。導入には条例や予算が必要になり15年3月議会に提案できるよつでできる限りの検討を続ける。議会の意向を無視して強引に進めるといふ考えはない。

**問** 住基ネットの不服審査について

**答** 批判が多い業務拡大を含んだ行政手続きをオンライン化関連法案は廃案となった。当市でも住基ネットに反対の市民グループから行政不服審査法に基づき異議申立てがあったがどのように対応されたか。

批判が多い業務拡大を含んだ行政手続きをオンライン化関連法案は廃案となった。当市でも住基ネットに反対の市民グループから行政不服審査法に基づき異議申立てがあったがどのように対応されたか。

棄却し文書で回答  
長瀬総務部長

**答** 文書で提出のあった4人から口頭意見陳述の申し出があり、陳述の場を設け意見を伺った。

住民票コードは改正住民基本台帳法に基づいて付番した。申立人のプライバシーを侵害するものではなく、違法性はないものと考えている。

## 骨粗しょう症の定期診断を提案する

### 平成15年度から実施する

**問** 高齢者の転倒による骨折は、骨粗しょう症によることが多い。

こうした人は、寝たきりとなることから、早期発見早期治療が大事となる。

よって医療福祉の立場から、医師会による定期検診の実施と、骨密度簡易測定器の設置を提案する。

**答** 骨粗しょう症の定期検診は、平成15年度から医師会の指導の上で、予防検診として導入する。

女性を対象とし、40歳から65歳までの5歳おきとしたい。結果指導にも力を入れ運動習慣等も充実させる。簡易測定器は、実施方法を医師会等と研究したい。

川手靖猛  
浅野健康福祉部長

**問** 全方位交流と留学生奨励資金制度を

国際交流においては、従来の姉妹都市的でない緩やかな全方位交流を提案する。

また海外留学生に市長の親書などの情報を受発信してもらい、それに応分の奨励金を出す制度を提案する。

実現に向け諸団体と協議していく  
渡辺企画部長

**答** 全方位交流には、文化芸術に触れ合うようなメニューの組み入れなど目的・テーマを絞った草の根の交流も必要である。

また奨励資金制度も、新たな交流の始まりともなり、役割を果たした留学生を奨励する事は必要であるので、これらの実現に向け諸団体と十分協議したい。

## 桜ヶ丘ハイツ内に福祉施設の建設を

### 老人保健福祉計画の中で研究したい

**問** 当団地は高齢化に向けての対策が早急の課題である。お年寄りの人たちが歩いて行ける所に皆で集えて趣味を生かしたりボランティアの人たちが活動しやすい場所が必要だ。

市全体のバランスから見ても団地内に福祉施設の建設が望まれるがどうか。

**答** 高齢者福祉施設の整備は全市的に将来を見越した計画を立て対応していく必要がある。健康なお年寄りを育てていくために、東部地域に在宅介護支援センターの設置など、福祉整備をどのようにしていくか老人保健福祉計画の中で研究する。

加藤新次  
浅野健康福祉部長

臯ヶ丘と桂ヶ丘を結ぶ道路建設を

**問** 当初の開発計画が遅れ、2つの団地を結ぶ道路の建設がいまだになされていない。市は用途指定だけしてそのまま放置しておいてよいものだろうか。今後何か条件をつけて建設する方法はないか。

現在では動きが取れない状況  
山田市長

**答** 市がどういう形にしようが、あくまでも地権者の了解が得られない限りは市の立場で事業展開をしていくような方向にはなっていない。いつそ土地権者に対してしっかりと話をして進めていきたいと思う。なるべく早い機会に向づけをしていけるように努力する。

現在は動きが取れない状況  
山田市長



建設が止まっている道路（臯ヶ丘地区）

# 一般質問



悠久の歴史にロマンが...

リトイレットプラン：下水道の処理区域となったときに市がトイレの改造費の融資あっせんや借入利子の補給をする制度



市役所1階の喫煙場所

**問** Educareの取り組みの中で、おとなと子どもが一体となった行事が活発になってきているが、喫煙マナーに問題がある。タバコは薬物問題の前に立ちほだから、「入門薬物」と言われる。子どもたちへの影響を考えて、タバコ環境を早急に改善すべきだ。

### 教育施設での喫煙には最大の配慮を 設備設置やおとなへの協力依頼する

**答** 分煙を行っているが、一度に大勢の場合は、限界が生じている。今後、順次、換気扇や空気清浄機を設置する。また、親子イベントなどでの喫煙については、窓の開閉やマナーの喚起を含めて協力依頼を呼びかけ、公民館長とも相談して対応する。

**問** 処理区域になると3年以内に下水道に接続して下水道接続した団地などは、基準に合わない宅地内排水設備について3年をめどに補修することになっているが、進捗状況と対応は。

### 服部 よね子 井戸教育長

**答** 既存の集落で新たに整備した所は事業前から説明をし、団地で接続をした所は自治会と協定書を結んでいるが、個人の負担がかかることなので対応が難しい。今後、3年近くになった時点で自治会に協力依頼をするなど啓蒙をし、リトイレットプランの説明など精力的に進めたい。

## 一般質問

30人学級、小1・2年生から実施を

富田 牧子

井戸教育長

来年度新たに検討したい  
渡辺企画部長

### 国・県の責任で実施すべき

**問** 全国で少人数学級が広がり、今年度は22道府県で実施され、犬山市も16年度から全小中学校で30人学級を実施すると聞く。可児市議会にも市民から30人学級実施の請願が、多数の署名を添え提出された。小学校1・2年生だけでも30人学級を実施できないか。

**答** 小学校1・2年生で30人学級を実施した場合、課題が2点ある。教室と教員の不足である。こうした事態を回避するためにも、学級編成に係る教員の定数は、国や県が責任を持って実施すべき。県が学級編成の弾力化を認めれば、対応したい。

さつきバスをさらに利用しやすく

**問** 昨年7月からの改定で、さつきバスが利用しやすくなった。しかし、帷子地域では一部を除いて西可児駅まで出なければバスを利用できないし、待ち時間も長い。さらに利用しやすくしてほしい。

**答** 文化創造センターの開館に伴い、さつきバスの運行ルートを拡大した。帷子地域では、路線バスルートとの重複を避けるために、乗り入れをしていない地域がある。さつきバスの利便性をよりいっそう向上させるために、隔年度を基本として改善計画を立てる予定である。



市民の足、さつきバス

小学校1・2年生だけでも30人学級を実施できないか。

昨年7月からの改定で、さつきバスが利用しやすくなった。しかし、帷子地域では一部を除いて西可児駅まで出なければバスを利用できないし、待ち時間も長い。さらに利用しやすくしてほしい。

文化創造センターの開館に伴い、さつきバスの運行ルートを拡大した。帷子地域では、路線バスルートとの重複を避けるために、乗り入れをしていない地域がある。さつきバスの利便性をよりいっそう向上させるために、隔年度を基本として改善計画を立てる予定である。

服部 よね子

井戸教育長

**答** 既存の集落で新たに整備した所は事業前から説明をし、団地で接続をした所は自治会と協定書を結んでいるが、個人の負担がかかることなので対応が難しい。今後、3年近くになった時点で自治会に協力依頼をするなど啓蒙をし、リトイレットプランの説明など精力的に進めたい。

予定の状態に進まず  
対応が難しい  
澤野水道部長

## 可児市郡合併検討特別委員会を設置

合併問題については、平成13年7月23日に可児市議会合併問題研究会を設置し、研究を進めてきました。昨年10月24日御嵩町、兼山町の両町長から可児市長に合併協議会を立ち上げるよう申し入れがありました。11月6日山田市長は、両町長に協議に応じる旨、回答しました。市議会はこれらの動向を見極め、さらに専門的に調査研究するために可児市郡合併検討特別委員会を設置しました。

### 委員会メンバー

委員長	澤野 隆司	委員	河村 恭輔
副委員長	渡辺 重造	"	可児 慶志
委員	田口 進	"	亀谷 光
"	奥田 俊昭	"	川手 靖猛
"	林 則夫	"	伊藤 健二

印は、可児市郡合併検討協議会のメンバーです。

## 掲載以外の一般質問

芦田 功	・国際園芸アカデミー開校に向けた可児市の対応について ・可児市庁舎の増築について
小川 富貴 角 眞一郎	・可児市郡合併協議について ・ミニ市場公募債の活用は ・ISO9001の取得で職員の意識改革を
中村 悟	・給食センターの建替えについて ・駅東土地区画整理事業への予算重点配分を
伊藤 健二	・まちづくり条例の進行状況は
村上 孝志	・御嵩町・兼山町との合併問題方針について ・身障者用駐車スペースの確保と明示について ・福祉推進員制度について
加藤 新次 富田 牧子 服部 よね子	・合併問題について ・選挙をめぐる問題について ・移動販売で高齢者の生活必需品の確保を
可児 慶志	・市町村合併について ・産業振興について ・教育改革について

一般質問の問・答は議員自ら執筆しています。ご不明な点は直接議員にお尋ねください。

## 長期財政計画の見通しと対応策は

### 自主財源を確保し事務事業を見直す

**問**

三位一体の改革、そして付随している地方財政の効率化、国と地方の役割の分担の見直し、課税自主権の発揮等による地方自主財源の充実、またミニ公募債、あるいはPFIの導入等も含めて、本市の長期財政計画の見通しと、新時代への対応策は。

**答**

歳入は大幅のマイナスの見込み。歳出は福祉関係の扶助費や、一部事務組合への負担金など増加し、投資的経費が減少する。多年度予算編成、民間活力・資金の活用、特別会計の自立、自主財源の確保、大型事業の精査を行うなど、行政の役割を見直す。

可児 慶志

長瀬総務部長

**問**

在宅及び施設サービスの充実策は  
訪問介護需要は見込みの12%を大幅に超え、事業者はサービス提供を賄い切れない。施設入所希望者も見込み以上の待機者が存在する。介護サービスの充実を今後どのように実施して行くのか。

**答**

今年度中に下恵土と帷子で、来年度に広見で施設整備と2か所の医療から介護への転換計画がある。  
介護専門職員の育成、サービス事業者と保健・福祉・医療機関との相互連携体制の整備、チェック態勢の確立、相談体制の強化など質的向上を進める。

介護サービスの質的向上を進める

浅野健康福祉部長



施設での行事を楽しむ入所者

## 議会傍聴者の声

答弁の声が聞きにくい

今渡 長谷川春男

初めて、市議会の傍聴をさせていただきました。議場と傍聴席の狭いのにびっくりしました。

市長さんをはじめ、各部長さんの答弁がマイクが悪いのか、聴きにくかった。特に 部長さんは声も小さく分からなかった。覇気も伝わってこなかった。

前に県議会の傍聴に行きましたが、議場も傍聴席も広く、壇上と傍聴席までは遠かったような気がしましたが、よく聴き取れました。そのイメージがありますので、少しがっかりして帰りました。

議員、職員の皆さま頑張ってください。

答弁の声が小さい

今渡 吉田雄二

議員が大きな声で、はっきり質問しているのに対し、答弁側の部長たちの声が小さくて残念だった。

市の代表なのに自信が無いのかと感じた。

議場内の暖房がちよっと高すぎると思う。頭がポロっとして眠気を感じた。

一問一答の対面方式を

久々利 加藤匡子

毎回できる限り市議会、一般質問を傍聴しておりませんが、質疑応答の焦点がより明確に判り易いようにと一問一答の対面方式を以前にも要望を出しましたが、その後ご検討いただいたでしょうか。どうなりましたか。

12月16日の文教委員会を傍聴致しました。

委員長の議事運営や進行は評価できましたが、委員の方々（議員）のもう少し活発な議論を期待します。

内容に肉迫するような調査・研究をして内容ある議論を期待します。

（行政のお役人さんの説明に頼るのではなく）自ら、教育現場の状況や現場の声を聞き情報収集をしていただきたい。

下恵土 杉山強一

初めて参加させてもらい

ました。行政の方も議員の方も一生懸命取り組んで居られた。議員の質問が長いわりに行政の答が簡単に思う。また声に何か元気がないように思った。

\*この他にも議会傍聴の声を寄せていただきましたが、すべて掲載することができません。あしからずご了承願います。



傍聴者の声にお答えします。

議会運営委員長が、執行部に分かりやすく明確に答弁するよう、申し入れを行いました。一問一答方式については、議会運営委員会が先進地である宇佐市議会を行政視察し、検討していく予定です。

あなたも市議会を傍聴してみませんか

次の定例会は3月です

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題が審議されています。

市政を知っていただくためにも、お気軽にお出かけください。簡単な手続きで傍聴できます。

一般質問はケーブルテレビで放映されます。

3月定例会のお知らせ

3日 開会

（議案提案説明）

7日 一般質問

12日 経済福祉委員会

13日 総務企画委員会

14日 建設水道委員会

17日 文教委員会

20日 最終日

（委員長報告・討論・採決）

日程は予定ですので、変更されることもあります

編集後記

2003年がスタートした。今年は、統一地方選挙、及び本市の議会議員の選挙の年でもある。毎年、せわしい年であるが、今年も相変わらず忙しい年になりそう。

忙しい年は、あつと間に過ぎる。「時の流れ」を大切にしたい。まずは、健康第一である。

家族が、地域が、皆がこの一年明るく生きぬき「頑張った」年にしたい。そんな中で議会だよりも議員皆で編集し、読んでいただけるものを作り発行していきたい。

議会だより編集委員会

委員長	渡辺 重造
副委員長	富田 牧子
委員	加藤 新次
"	伊佐治昭男
"	角 眞一郎
"	大雅 清光
"	小川 富貴
"	服部よね子